

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	地理歴史	科目：	歴史総合	単位数：	2	指導学年：	1
使用教科書	詳述歴史総合（実教出版）		副教材				

年間指導目標：

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質、能力を育成することを目指す。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	近現代史の諸事象について、世界と日本を広く相互的な視座から俯瞰し、現代社会の諸課題に関わる近現代史に関する基本的な知識を複数の史・資料を活用し様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代史の変化に関わる事象の意味・意義・特色などを、時期・年代・推移・比較・相互の関連・現在とのつながりなどの項目に着目し、多面的・多角的に考察できるとともに、歴史にみられる課題把握と解決を視野に入れた構想力、考察・構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりする力が身に付いている。	近現代史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現に向け課題を主体的に追究・解決しようとする態度が身に付いており、多角的・多面的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の歴史や文化に対する愛着、他国や他国の文化を尊重することの大切さについてよく自覚している。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数
					a	b	c	d	e	
1 学期	中間 考査	【第1編近代化と私たち】 第1章 近代化への胎動 ・17世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出 第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成 ・17～18世紀のヨーロッパの主権国家体制	(知)	18世紀ころのアジアと欧米諸国の多様な関係や社会・文化、19世紀欧米諸国の産業革命や国民国家形成をきっかけとした世界経済の変化に関する基本的な知識を複数の史・資料を活用し理解できている。	○	○	○	○		12
			(思)	18世紀ころのアジアと欧米諸国の多様な関係や社会・文化、19世紀欧米諸国の産業革命や国民国家形成をきっかけとした世界経済の変化に関する問いに対して歴史的なものの見方、考え方にに基づき考察し、根拠を基に判断・表現できている。	○	○	○		○	
			(態)	18世紀ころのアジアと欧米諸国の多様な関係や社会・文化、19世紀欧米諸国の産業革命や国民国家形成をきっかけとした世界経済の変化に関する問いに対して自らの答えを出そうと努力し学習改善しようとしている。		○		○	○	
1 学期	期末 考査	・19世紀のロシア、アメリカの発展 第3章 アジアの変容と日本の近代化 ・アヘン戦争の衝撃と日本の近代化	(知)	19世紀のロシアの様子とアメリカの発展、アジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解できている。	○	○	○	○		12
			(思)	19世紀のロシアの様子とアメリカの発展、アジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する問いに対して歴史的なものの見方、考え方にに基づき考察し、根拠を基に判断・表現できている。	○	○	○		○	
			(態)	19世紀のロシアの様子とアメリカの発展、アジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する問いに対して自らの答えを出そうと努力し学習改善しようとしている。		○		○	○	

2 学 期	中 間 考 査	第4章 帝国主義の時代 ・帝国主義と世界分割、日清日露戦争と日本 【第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち】 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 ・第一次世界大戦と日本	(知) 帝国主義期における欧米諸国とアジア・アフリカの関係とアジアや日本での国民国家形成の動向、第一次世界大戦期における世界や日本の動向に関する基本的な知識を複数の史・資料を活用し理解できている。	○	○	○	○		16
		(思) 帝国主義期における欧米諸国とアジア・アフリカの関係とアジアや日本での国民国家形成の動向、第一次世界大戦期における世界や日本の動向に関する問いに対して歴史的なものの見方、考え方にに基づき考察し、根拠を基に判断・表現できている。	○	○	○		○		
		(態) 帝国主義期における欧米諸国とアジア・アフリカの関係とアジアや日本での国民国家形成の動向、第一次世界大戦期における世界や日本の動向に関する問いに対して自らの答えを出そうと努力し学習改善しようとしている。		○		○	○		
2 学 期	期 末 考 査	・大戦後の世界と民族運動、社会運動の広がりと言語選挙 第6章 経済危機と第二次世界大戦 ・世界恐慌からファシズムへ ・第二次世界大戦の惨禍	(知) 第一次世界大戦を経た国際関係の変化や戦後の各国の社会の形成、世界恐慌から第二次世界大戦に向かう日本や世界の動向に関する基本的な知識を複数の史・資料を活用し理解できている。	○	○	○	○		16
		(思) 第一次世界大戦を経た国際関係の変化や戦後の各国の社会の形成、世界恐慌から第二次世界大戦に向かう日本や世界の動向に関する問いに対して、歴史的なものの見方、考え方にに基づき考察し、複数の根拠を基に判断・表現出来ている。	○	○	○		○		
		(態) 第一次世界大戦を経た国際関係の変化や戦後の各国の社会の形成、世界恐慌から第二次世界大戦に向かう日本や世界の動向に関する問いに対して自らの答えを出そうと努力し学習改善しようとしている。		○		○	○		
3 学 期	学 年 末 考 査	【第3編 グローバル化と私たち】 第7章 冷戦と脱植民地化 ・冷戦と第三世界の出現、高度成長と日本 第8章 多極化する世界 ・石油危機から冷戦の終結へ 第9章 グローバル化と現代社会 ・地域紛争とこれからの課題	(知) 第二次世界大戦を経た国際社会の変化、冷戦下から終結後の多極化、また民族紛争や地域紛争、グローバル化を経て現代社会が直面する諸問題に関する基本的な知識を史・資料を活用し理解できている。	○	○				22
		(思) 第二次世界大戦を経た国際社会の変化、冷戦下から終結後の多極化、また民族紛争や地域紛争、グローバル化を経て現代社会が直面する諸問題に関する問いに対して歴史的なものの見方、考え方にに基づき考察し、根拠を基に判断・表現できている。	○	○		○	○		
		(態) 第二次世界大戦を経た国際社会の変化、冷戦下から終結後の多極化、また民族紛争や地域紛争、グローバル化を経て現代社会が直面する諸問題に関する問いに対して自らの答えを出そうと努力し学習改善しようとしている。		○		○	○		
合計									78